



大塚先生より

全国的に新型コロナウイルス感染症がまだまだ蔓延しています。今回は子どもと新型コロナに関してわかってきつつある事をあげてみます。(日本小児科学会ホームページより)

【その1】

- ・新型コロナウイルス感染者の中で小児が占める割合は少ない
- ・学校や保育所におけるクラスターは起こっているが、社会全体でみると少なく、多くの小児は家族からの感染である
- ・社会の大人のストレスが小児の身心に影響を及ぼしており、この流行のための環境変化に関連した健康被害が問題になっている

と…いろいろあります。正しい知識を持って、この大変な時期を乗り越えていきましょう



小児科外来より

めっきり寒くなりましたが、日中の気温が上昇し上着を着ていると汗ばむ日が数日ありましたね。寒暖差による喘息発作やじんましんで受診する患者さんや夏に流行する『アデノウイルス』に感染する患者さんがいました。

これからの季節に流行する感染症に負けないう、手洗い・うがい・マスク着用はもちろんですが、十分に栄養と休息をとりましょう。

※全国的なインフルエンザワクチンの供給不足に伴い、11月27日をもちまして新規予約の受け付けを終了させていただきました。



12月、病児保育室『はっぴい』では、みんなでクリスマスツリーを作ります



病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです

(受入れ人数一日3人) 2020/11/01~2020/11/30

	0~1歳	2~3歳	4~6歳	学童	合計
能代市	11	4	5	0	20
山本郡	0	0	10	0	10
その他	0	0	0	0	0
合計	11	4	15	0	30

「子どもの発熱 その2」

熱は出ているけど、元気がある・食欲もある場合は自宅で様子をみていて問題ありません。熱があるため体力は消耗しやすいので、安静に過ごすようにしましょう。体を動かす遊びを控え、休める環境を作ってあげましょう。また、こまめに水分補給することも脱水予防のためには大切です。寒気があるときは暖かくし、寒気が落ち着いたら厚着をさせすぎないように気を付け、保冷剤などで体を冷やしましょう。

高熱が出ると体力を消耗してしまい、うまく眠れなかったり、食事が十分にとれないこともあります。そのような場合は、解熱剤を使用し熱を下げてあげましょう(※用法・用量は守りましょう)。大人用に比べて成分がやさしいため1度しかさがらないこともありますが、体は楽になるはずですよ。

受診の目安は熱以外の症状になります。熱以外に発疹、ひどい咳、耳の痛み、嘔吐などの症状があれば受診したほうが良いでしょう。発熱と共に、ぐったりして様子がおかしい、けいれんが5分以上続く、苦しそうに肩で呼吸している、下痢や嘔吐を繰り返すおしっこ回数極端に少ないときは夜間でも受診したほうが良いでしょう。また、3か月未満の乳児が高熱を出した時はすぐに受診が必要です。

病児保育専門士(看護師) 大山



～お知らせ～ 次月号は2月の発行となります

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません

